



須賀
山本 里歩ちゃん(6カ月)
わが家のわんぱく姫♡
すくすく大きく育ってね!



高辺台
辻本 智咲ちゃん(2歳6カ月)
大きくなっても一緒にテニスしてく
れるかな♡



中野町
和田 理久人ちゃん(1歳)
おひさまの明るさをありがとう!
我が家の王子様♡

みんなの広場

宛先

584-8511
常盤町1番1号
富田林市役所
情報公開課広報係
住所・氏名(ふりがな)・電話番号

わが家のアイドル(対象年齢は4歳未満、兄弟・姉妹と一緒に写っている写真でも可)は、写真の裏に、名前(ふりがな)と撮影時の年齢(月齢)を記入し、メッセージ(20字程度)を添えて、封書で左記の宛先まで応募してください。

なお、今応募された場合、掲載は約2カ月後になります。



川越 静枝さん(11月17日生まれ)



田中 ユキエさん(11月20日生まれ)



森回 キサエさん(12月4日生まれ)

◎ 100歳 ◎
おめでとーございませす!
◎ 寿 ◎
誕生日を迎えられた皆さんを訪問しました。

川柳

富柳会 池 森子選
今月の宿題「順」

秀句

終章に選んだ道を今生きる

小金台

岡野 安希子

△選評V生きると言う人生に終章と言う終着駅があることを身近に教えてくれた人が居る、とても静かにやさしい顔でこの世の橋を渡って逝った、やがての順番は然りげ無く、それとなく、わが道を懸命に生きてみよう...

順調に忘れ上手になつて生き

須賀

林 澄子

順番に次々と咲く寒椿

高辺台

矢野 正弓

起承転どんでん返し振り出しへ

高辺台

児玉 暢夫

マイナンバー亡き後には欠番か

南旭ヶ丘町

柳井 義信

順々に御先祖様となつてゆく

津々山台

下村 英子

割り込んで爆買い漁る国文化

東板持町

洲濱 耕咲

順不同喜怒哀楽は宝物

選者

吟

※2月号は「短歌」を掲載します(なお、応募は12月31日で締め切りました)。

川柳・短歌・俳句は、それぞれ別のがぎで応募してください(1人各5点まで)。市内在住の人で未発表のものに限ります。作品の漢字や氏名には必ずフリガナをつけてください。

3月号の「俳句」は1月31日(日)、4月号の「川柳」(宿題「組」)は2月29日(月)、5月号の「短歌」は3月31日(木)までに応募(いずれも必着)してください。宛先は上記をご覧ください。

「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に！
スポーツ推進委員協議会

スポーツ推進委員協議会は、スポーツ基本法に基づき、市教育委員会から小学校区単位で委嘱されたスポーツ推進委員（旧体育指導委員）が中心となり、「いつでも、どこでも、だれでも」を合言葉に市民の皆さんに簡単にできるスポーツを楽しんでもらおうと活動しています。

スポーツ推進委員協議会では、毎年、5月に実施している「チャレンジ・ザ・ウォーク」、体育の日記念事業の「体力測定会」、11月に近畿一円の名所旧跡を巡る「おでかけ健康ウォーキング」などを全体活動として実施しています。

また、地域活動として、北部・東南部・西部の3地区に分かれて、小学校の校庭、体育館での「ファミリアレクリエーション」や、小学校を起点に富田林近郊の史跡・自然を見て季節を感じられるコースを歩く「健康ウォーキング」などの毎月の定例事業を実施するとともに、依頼があれば、地域の団体や幼稚園・小学校のPTA活動でレクリエーションなど



おでかけ健康ウォーキング

の指導もしています。

さらに、現在30人のスポーツ推進委員をプログラムサービスマス、インフォメーション、ジュニアスポーツリーダー育成の3つのチームに分け、委員研修の企画運営、ホームページ運営などの広報活動、小学4年生と中学3年生の子どもたちが参加するキャンプやスキー、耐寒登山、グループワークなどをチーム活動として実施しています。

ジュニアスポーツリーダーとして小学生の頃から参加していた子どもたちが大きくなってシニアリーダーとなり、後輩の小さな子どもたちの指導をしている姿を見ると、その成長ぶりには目を見張るものがあります。日々の活動では、それほど変化は見られませんが、積み重なった年月の重みを感じずにはいられません。また、市民の皆さんとグラウンドゴルフやウォーキングで一緒に活動する中で、さまざまなことを教えていただいたり、自分なりの気付きがあったりと、私たちスポーツ推進委員も楽しみながら活動させていただいています。

毎月の活動内容や予定はスポーツ推進委員のホームページや、広報誌にも掲載しており、「いつでも、どこでも、だれでも」参加者募集中です。

私たちと一緒に気軽にスポーツを楽しんでみませんか。

スポーツ振興課（☎20390）

MEET★とんだばやし

～認知症になっても笑顔で暮らせる富田林～

はいかい
ご存じですか「徘徊高齢者SOSネットワーク」

急速な高齢化の進展により、平成37年には5人に1人が認知症になると予測されています。現在、認知症やその疑いがあり徘徊などで行方不明になる人は、全国で年間1万人を超えており、その結果、死亡した人や行方不明のままの人は、年間500人を超えています。

本市では、平成11年から「徘徊高齢者SOSネットワーク事業」を開始し、その後、南河内圏域の10市町村による広域体制を整備し、市域を越えた連携を実施しています。

この徘徊高齢者SOSネットワーク事業は、認知症の人が行方不明となった場合に、自治体をはじめ介護事業者、交通・金融・医療機関など、それぞれの協力機関に対象者の情報を発信し、早期に発見できるよう



にネットワークを築き、対象者の迅速な安全確保とそのご家族の精神的負担の軽減を図ることをめざしています。

なお、協力機関の事業所や車両にマグネットシートやステッカーを掲示しています。

また、とんだばやしメールの「高齢者福祉」の配信メニューでは、従来の消費者被害や介護予防に関する講座案内に加え、行方不明高齢者の特徴などの情報を配信しています。

小さな変化にも気にかけていただける人を増やし、日常生活の中で可能な範囲での捜索協力や情報提供をお願いしていますので、ぜひ、とんだばやしメールのご登録をお願いします。

今後も徘徊高齢者SOSネットワーク事業を拡充し、認知症の人とそのご家族が安心して暮らせるまちづくりをめざしますので、事業に関することや協力していただける人・機関・団体は高齢介護課までお問い合わせください。

一人でも多くの皆様のご協力をよろしく申し上げます。

高齢介護課（内線183）

